



製・配・販連携協議会
今後の運営方針について

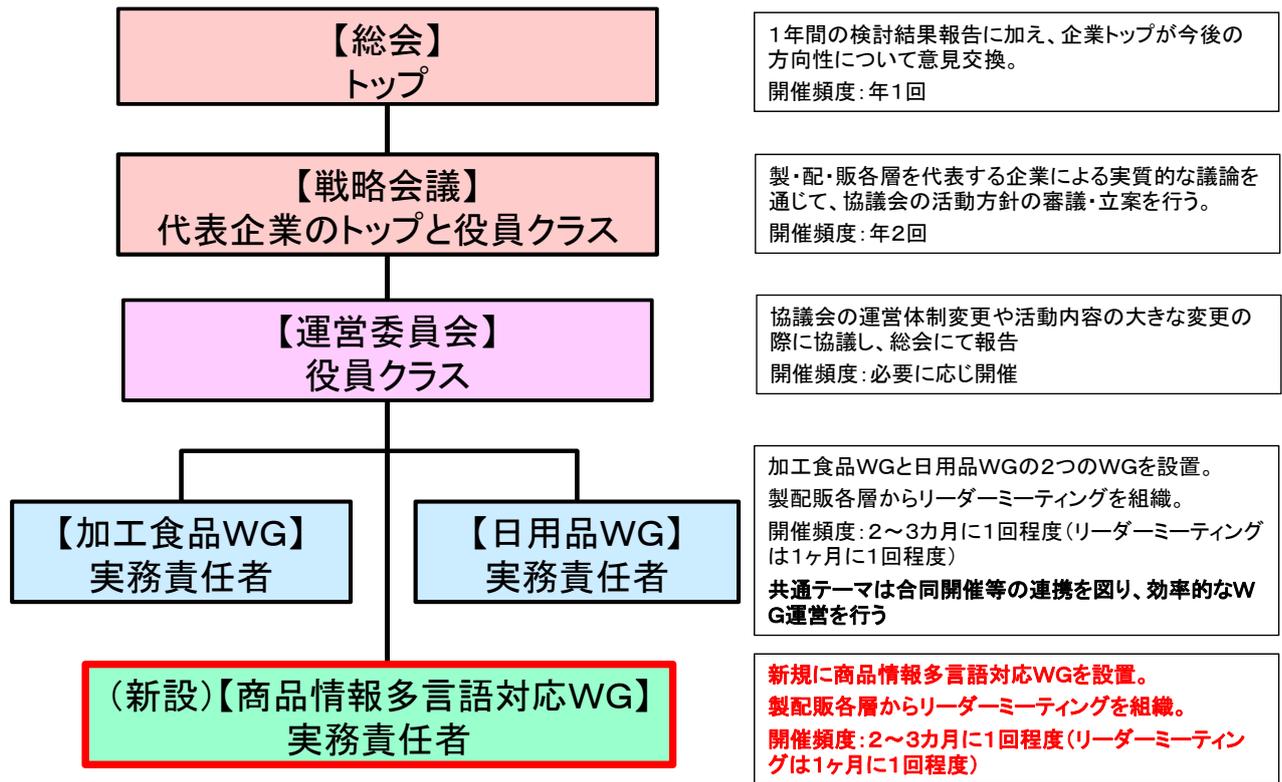
2015年7月3日

製・配・販連携協議会 事務局

製・配・販連携協議会 今後の運営方針について

1. 2015年度の組織体制
～商品情報多言語対応WGの設置
2. 表彰制度の導入
3. 新規加盟企業
4. 今後のスケジュール

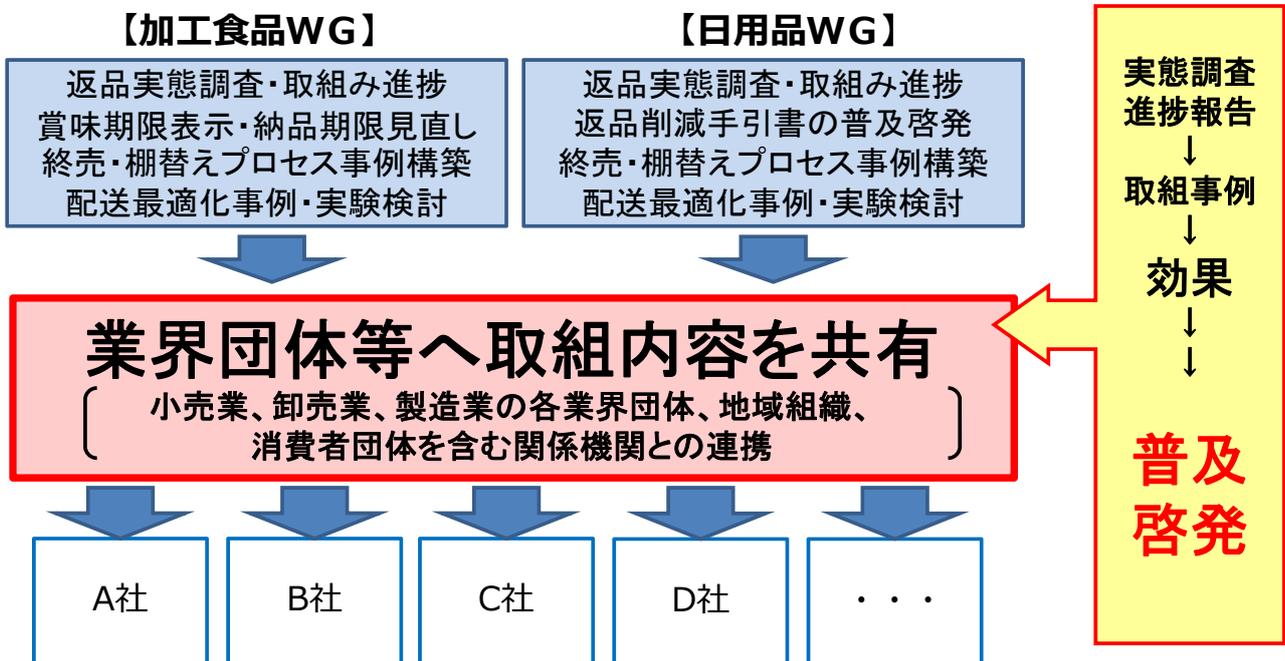
1. 2015年度の組織体制



3

加工食品WG・日用品WG ～ 業界全体への普及啓発

- 加工食品WG・日用品WGでは、メンバー内で実態調査・進捗報告、事例共有、効果検証を行うとともに、業界団体や地域組織など関係機関へ取組内容を共有し、業界全体への普及啓発を進める。



4

商品情報多言語対応WGの概要

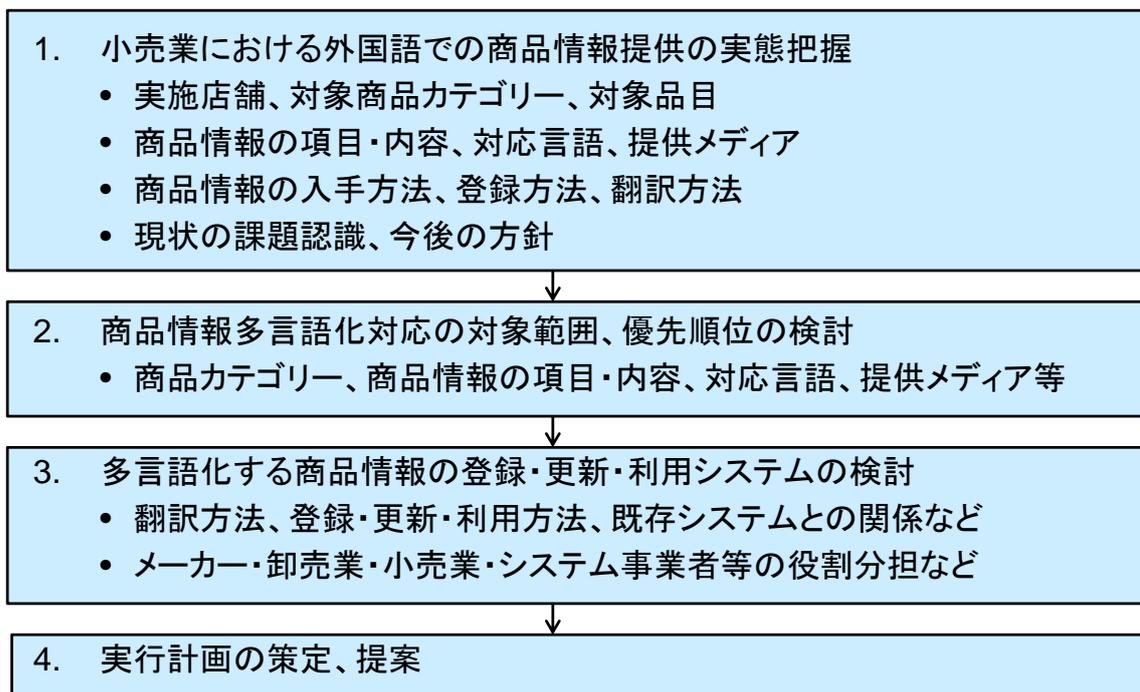
- 訪日外国人旅行者(2014年約1,340万人)の買物需要を一層拡大するべく、商品情報を多言語で提供するための、製・配・販が連携した共通インフラの構築・運用のあり方について検討する。

- 論点(案)
 1. 小売店での多言語対応の必要性
 - 日本を訪れた消費者にどのような情報を提供することが必要か
 2. 提供情報の整理
 - 多言語で提供する情報はどのような幅(範囲)か。通常の成分表示に記載されている内容で良いか、更に必要か
 3. 情報の格納・更新方法
 - どのように必要な商品情報を集約するか。また商品情報に更新があった際はどのように対応するか

5

商品情報多言語対応WGの概要

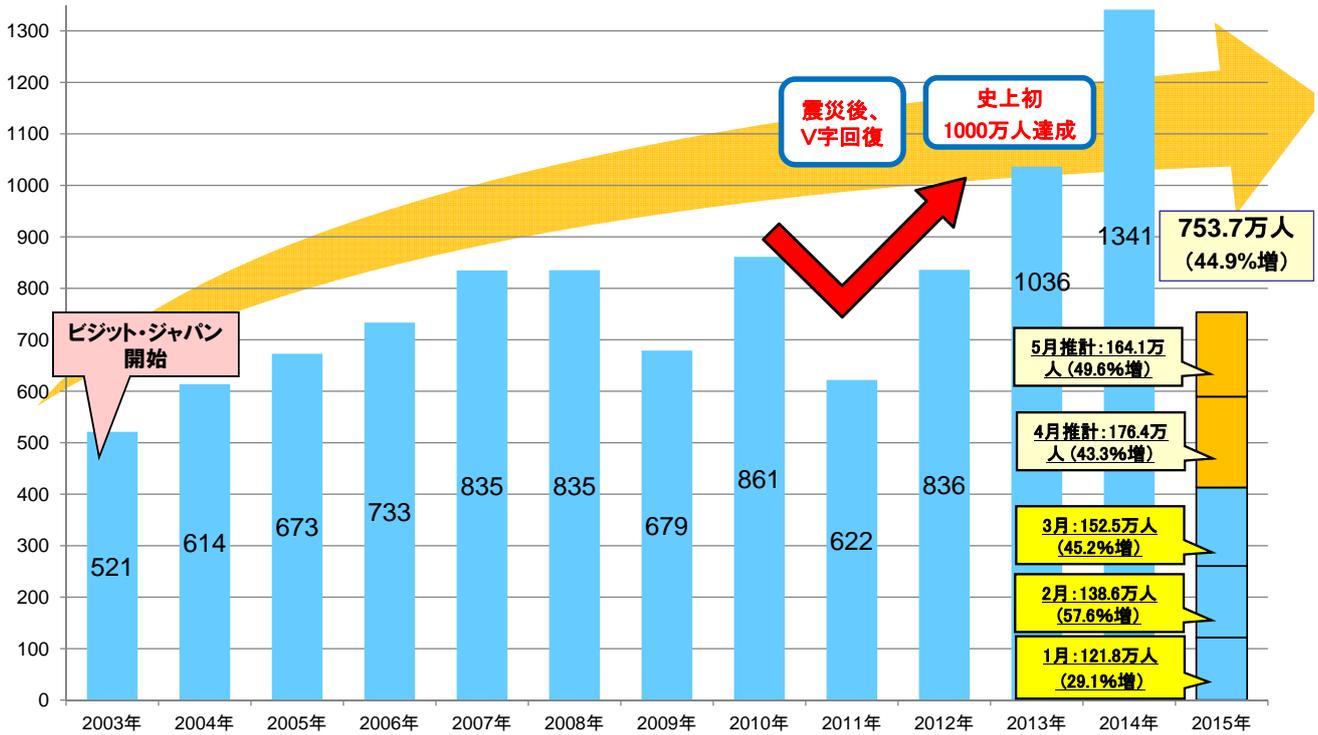
- 検討手順(案) ※主幹となる業界:化粧品、日用雑貨、加工食品、OTC医薬品



6

(参考)訪日外国人旅行者数の推移

■ 訪日外国人旅行者は10年間で倍増し、今後も拡大する見通し。

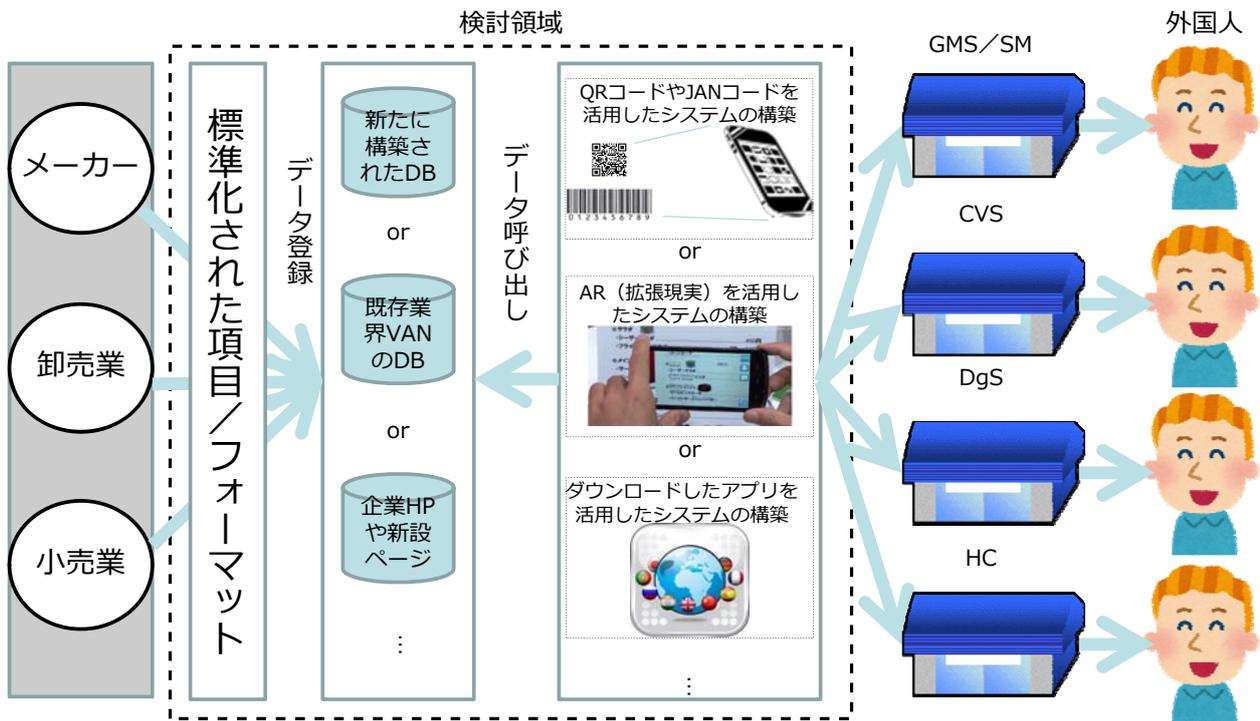


出典：日本政府観光局 (JNTO)

7

(参考)商品情報多言語対応に向けた共通インフラ(イメージ)

■ 訪日外国人に対してメーカー・卸・小売が連携しITを活用した多言語による商品情報提供システムを構築することで買物における利便性向上を図り、外国人による需要を喚起する



8

2. 表彰制度の導入

- 製・配・販連携協議会の正式発足から4年が経過し、加盟企業ではサプライチェーン効率化に向けた各種取組みが進んでいる。
そこで、協議会活動の活性化、加盟企業のモチベーション向上を図るべく優秀な取組を年度総会で表彰する制度を導入する。

- 進め方(案)

- 個社毎にWGでの活動を踏まえた効率化目標を表明。年度末に、目標の達成数値状況や具体的取組内容を報告し評価。
評価基準はWG(加工食品+日用品)にて議論。
 - ・ 返品削減実施計画書等にて個社情報を管理
 - ・ 物流環境変化を踏まえた配送最適化事例

- 2016年総会において、優秀企業を表彰しHP等で公表する。
 - ・ 対象企業: 製・配・販連携協議会加盟企業
 - ・ 表彰企業: 製・配・販から各1社(計3社)を表彰

優秀企業表彰



3. 新規加盟企業

- 製・配・販連携協議会への趣旨に賛同し、活動への参加を希望する下記企業に2015年度より新規加盟いただく。

企業名	代表者
キッコーマン株式会社	代表取締役社長 CEO 堀切 功章 氏
ネスレ日本株式会社	代表取締役社長兼CEO 高岡 浩三 氏

4. 今後のスケジュール

■ WG活動

- 2015年7-8月 会員ニーズ確認、参加メンバー、リーダー社決定
- 2015年9月- WG活動開始

■ 戦略会議

- 第1回 2015年11月13日(金)15:00~17:00
会場:明治記念館 末広の間
- 第2回 2016年4月22日(金)15:00~17:00
会場:明治記念館 孔雀の間

■ 総会／フォーラム

- 2016年7月15日(金)15:00~19:30(懇親会含)
会場:青山ダイヤモンドホール 1階ダイヤモンド